

なかつか 亮



2011年9月11日(日)

NO329

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

総事業費1150億円 税金220億円投入の巨大プロジェクト

北品川五丁目第1地区再開発事業 東京都に認可を申請



品川区は8月22日の区議会建設委員会で、北品川五丁目第1地区再開発事業について、権利変換計画の認可申請を東京都に行なったと報告。9月中旬から既存建物の解体工事を進める考えです。140棟級マンション、オフィスビル各1棟をはじめとする計6棟の大型開発。3.6ヘクタールの巨大プロジェクトがいよいよ始動ですが、これで良いのでしょうか。

これ以上の高層ビルは止めてほしい65%

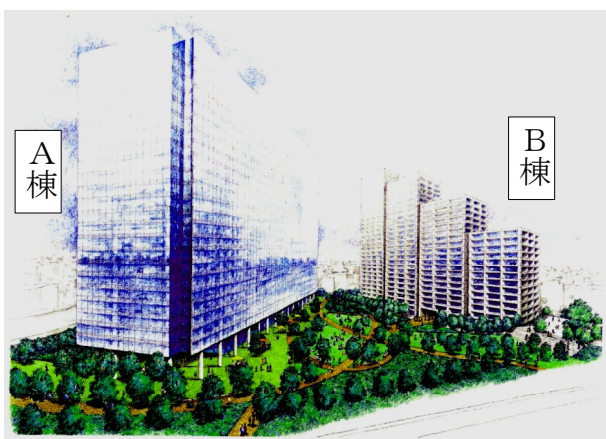
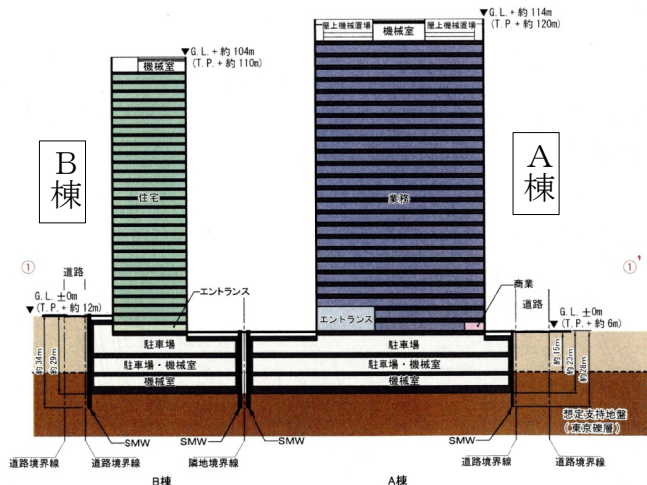
この大型開発の地区内には旧区立総合体育館があり、品川区は権利者として再開発組合の当事者のひとり。区は「居住者、就業者、来街者が快適に過ごせる都市アメニティ環境を創造する」と計画を説明します。総事業費は1150億円、補助金として税金を220億円投入する大型公共事業。今年だけでも38億円の予算が品川区に計上されました。しかし、こうした大型開発の推進を区民は

どこまで望んでいるのでしょうか。共産党が取り組んだ区民アンケートには区内の高層ビル建設について65%が「これ以上はやめてほしい」と回答。裏へ

北品川五丁目第一地区再開発

A1棟	高さ143m	30階	オフィスビル
A2棟	高さ69m	18階	住宅110戸
B棟	高さ10m	2階	地域交流施設
C1棟	高さ93m	19階	オフィスビル
C2棟	高さ24m	4階	作業所(工場)
D棟	高さ142m	39階	住宅740戸
E棟	高さ14m	2階	店舗

西品川一丁目地区再開発計画



横須賀線方面からみた完成予想図

西品川一丁目地区再開発計画の概要

区域面積 3.8ha

A棟 高さ114メートル オフィスビル

B棟 高さ104メートル 住宅460戸

駐車台数 690台

工事開始予定 平成25年度～平成28年度

供用時期 平成28年度（予定）

—環境影響評価調査計画書より—

「さらに進めてほしい」
11%を大きく上回り、
これ以上の高層ビル建
設に、強い不満の声が
あがっています。

また、東日本大震災
の被災者支援、復旧・
復興の財源確保が議論
されていますが、それ
こそ大型ハコモノ事業
への税金投入より、復
興支援こそ優先すべき

ではないでしょうか。

新たな計画が浮上

大崎駅や目黒駅、大井町駅周辺で進む再開発事業。そんな中、新たな計画が進んでいきます。それは西品川一丁目地区再開発。国際自動車教習所跡地周辺の3.8畝です。

100坪級オフィスビル、マンションが各

1棟の計画で、品川区は「東京都などの関係機関と協議していく」と推進の考えです。

この計画は、平成20年6月に当該教習所跡地を住友不動産が取得。平成21年12月に再開発準備組合が設立し、翌年9月に区域を拡張。今年8月末から環境影響評価調査計画書縦覧

へ。総事業費や補助金額は決まっています。今こそ見直しを

どんどん進むハコモノ事業ですが、高層ビルは長周期地震動やライフラインが途絶えるなど新たな問題も指摘されています。大震災が起きた今こそ、一度立ち止まって見直しが必要です。なかつか亮

ご意見、ご要望お聞かせ下さい

日本共産党